

# タケヤブ ヤケタ



## カブを試食しながら、焼き畑の可能性と 中山間地の再生を考えるシンポジウム

2015年

# 12月18日(金)

島根大学 教養講義室棟1号館102教室

17:30~20:30

(16:30 開場・試食会開始)

参加無料  
申込不要

2015年9月、奥出雲町佐白の荒廃竹林を伐開後、火を入れ、カブの種をまきました。「竹の焼き畑」です。中山間地の人口減少と人間活動の衰退局面にあつて、焼き畑をとらえなおすシンポジウムを開催します。資源利用、生態系保全、地域文化再生など多面的観点から討議します。

### session I 基調講演～比較民俗学と森林生態学からのアプローチ

17:30~  
19:10

川野和昭 (南方民俗文化研究所主宰)

「竹の焼き畑をとらえなおす～微小な民俗文化の有効性と重要性」(仮題)

佐野淳之 (鳥取大学農学部附属フィールドサイエンスセンター教授)

「中国山地の山焼きと生態系～火入れによる再生と循環について」(仮題)

### session II ディスカッション～焼き畑と中山間地の再生を考える

19:20~  
20:30

提起① 島根大学学里山管理研究会：「週末はタケヤブに行こう！」

提起② NPO法人さくらおろち：「中山間地の再生ってなんだ!？」

司会：小池浩一郎 (島根大学生物資源科学部教授・森林資源管理)

パネラー：川野和昭, 佐野淳之,

國光謙壯, 中村孔紀 (島根大学里山管理研究会)；面代真樹 (NPO法人さくらおろち)

★20:40～懇親会 (参加費：学生 500 円、一般 1500 円)

† 島根大学 COC 事業 (高齢化社会における豊かな農山村の創造に寄与する学際的研究)  
† しまね自然と環境財団助成事業 (竹と山の学校～斐伊川流域圏で考え、動くための連続環境セミナー)

主催 島根大学森林資源管理研・特定非営利活動法人さくらおろち

共催 島根大学里山管理研究会・財団法人島根総合研究所

後援 松江市・雲南市・奥出雲町

お問合せ

NPO 法人 さくらおろち 雲南市木次町平田779-1  
TEL/FAX 0854-48-0729 (担当：面代)  
mail: omojiro@s-orochoi.org

島根大学里山管理研究会  
担当：國光謙壯  
sanson.juku.v@gmail.com



●川野和昭 (かわの かずあき) …高校教諭、大学非常勤講師(アジア文化論)を務めながら、総合地球環境学プロジェクトに加わり、東アジアの民俗文化の調査・研究を続け、2004年から黎明館学芸課長を務める。東アジアの民俗文化に関する展示・講演多数。2011年黎明館を退職し、2012年南方民俗文化研究所設立。

●佐野淳之 (さの じゅんじ) …北海道生まれ。北海道大学大学院環境科学研究科・農学研究科修了。農学博士。北海道でミズナラ林など広葉樹林天然林の生態学的研究を行った後、鳥取大学農学部へ。大山や蒜山を中心に、人間活動も含めた森林の動態と生態系管理について研究している。



フィールド研修

# 里山の竹林とつきあう技術研修

The technological training to manage Tikurin in Satoyama.

## 12.13 (日) 1.17 (日) 1.31 (日)

会 場:尾原ダム・さくらおろち湖周辺

時 間:9:30～15:00

参加費:600円(保険料、資料代込)

孟宗竹とのつきあい方、教えます。生態をどうみて、いかにつきあっていくか。切り方、倒し方、燃やし方、計画の立て方、チェーンソーの扱い方、メニューはいろいろ。見学だけでもOKです。詳細は計画につき、場所と時間など、お問い合わせください。



セミナー

## 故郷の記録を保存して、故郷の記憶を記録する (仮題)

A record in home is preserved, A memory in home is recorded.

～着実に地に足をつけた人々による日々の営みのなかに、時代と社会を動かす芽を見つけるために



2016年

### 2.14 (日)

会 場:松江市市民活動センター 401 研修室

時 間:13:30～16:00 (11:00 開場)

参加費:一般 500 円 (資料代として)・大学生以下無料

講演『見向きされなかった近現代資料(自治会資料)を住民の手で活用していくために』(仮題)——板垣貴志(島根大学法文学部准教授)

レポート『山村における人口減少のリアル～何が失われようとしているのか』(仮題)  
——面代真樹(NPO 法人さくらおろち)

▲  
講師には響繁則氏。12月13日の回は、仁多郡奥出雲町佐白の「ダムの見える牧場」林地で開催します。この日のメニューは、杉造林地に入り込んだ竹の整備と、作業道兼竹の小道づくりを中心に実施する予定です。荒天の場合延期。

セミナーは、左と表の2本以外にもう1本、開催を準備中です。



ワークショップ

## 竹紙をつくる

The work shop where paper is made with bamboo.

～繊維の取り出しから紙漉きまで

ご要望に応じて、ワークショップを開催します。お問い合わせください。



しまね自然と環境財団助成事業(竹と山の学校～斐伊川流域圏で考え、動くための連続環境セミナー)

お問合せ  
お申込先

NPO 法人 さくらおろち TEL/FAX 0854-48-0729 メール sakura-o@bs.kkm.ne.jp  
〒699-1342 雲南市木次町平田779-1 温泉高齢者活動促進施設内(担当: 面代)